

浜通りの中学校で セミナーを開催しました

プログラム

開催日：平成31年1月25日（金）浜通りの中学校
講師：松原 昌平 先生（公益財団法人原子力安全研究協会）

講義「放射線の基礎知識とサーベイメータの使い方」（15分）
実習「放射線の測定」（30分）
まとめ「外部被ばくの低減三原則」（5分）

※各クラス 10:30-11:20、 11:30-12:20、 13:35-14:25 で開催しました。



講演内容

講義「放射線の基礎知識とサーベイメータの使い方」

- 身の回りの放射線
- 放射性物質と半減期
- GM サーベイメータの使い方

実習「放射線の測定」

- マントルの測定、間に板を挟んだら
- マントルからの距離を離したら
- いろいろな岩石を測定してみよう

まとめ「外部被ばくの低減三原則」

- 実習の測定結果から、距離／遮へい時間の効果を確認

頂いたご質問

Q. オゾン層が破壊されると地球に降り注ぐ放射線は増えるのか。

A. オゾン層は紫外線を吸収するが、放射線を遮る力は特別ないのでオゾン層の破壊が進むと放射線量が増えるということはない。



アンケートから

- いろいろな石から放射線が出ていて、その量が石によって全然違うことが分かって驚いた。
- 普段の授業ではこんなに詳しく学ぶことはない。
- 授業を受けて、もっと放射線のことを知りたくなった。

